

科目名	絵画Ⅰ－Ⅰ（人物画）（日本画、洋画共通）			科目コード	1015
開講学科	美術学科	単位数	4（計）	形態	実習
教員名	三待成司				
授業の目的及びテーマ					
人体デッサンによって、絵画への理解を深める。					
授業概要					
人物モデルを対象に、クロッキーを含めた様々な画材でのデッサンを体験する。					
授業計画					
第 1 回：木炭デッサン 第 2 回：クロッキー、コンテデッサン、鉛筆デッサン、水彩デッサン 第 3 回：コンテデッサン、鉛筆デッサン、水彩デッサン、合評会					
テキスト	「絵画実習Ⅰ」			参考文献	
評価方法：					
通信授業は提出課題を以って評価する。（学習指導書参考） 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					

科目名	絵画Ⅰ（日本画）			科目コード	1015
開講学科	美術学科	単位数	4（計）	形態	実習
教員名	三待成司				
授業の目的及びテーマ					
<p>絵画の基本といえる「デッサン」を体験しつつ、日本画材への適応を学ぶ。</p>					
授業概要					
<p>①人物画 ②風景画の2課題にとりくむ。対象物をよく観察し、それを画面に写し取り、理解することによって、自己表現へと発展させる基本を学ぶ。</p>					
授業計画					
<p>第1回：人物デッサン（上半身）【1枚】  第2回：人物デッサン（全身）【1枚】  第3回：風景写生【1枚】  第4回：風景写生【1枚】  第5回：風景写生【1枚】  第6回：エスキース【1枚】  第7回：日本画作品8F【1枚】</p>					
テキスト	「日本画ノート・基礎」			参考文献	
評価方法：					
<p>通信授業は提出課題7件を以って評価する。（学習指導書参考）  面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					

科目名	絵画Ⅰ（風景画）			科目コード	1015
開講学科	美術学科	単位数	4（計）	形態	実習
教員名	西山市博				
授業の目的及びテーマ					
<p>風景を通して絵画を作ること。西洋近代絵画の始まりは印象派からというのが通念であり小林秀雄著『近代絵画』に各々の画家の詳細が書かれている。</p> <p>それまでも風景画はあったが大きな1つの形式（透視遠近法の空間に明暗法で描写する写真的絵画）の中にあった。写真の発明普及によってその描写的使命は断たれ、画家は純粹に画家の道へ方向転換した。「絵画は何よりもまず色と形によって組織された平面である」というモーリス・ドニの言葉に象徴される思想が近代絵画の潮流となった。この授業では後期印象派のゴッホ、セザンヌ、ゴーギャン等を参照して風景画を作ってみる。</p>					
授業概要					
<p>最終的に「風景画を描いて提出する」10号キャンパス。油彩。その前に近代絵画のそれぞれの画家の形式、技法を調べる。</p> <p>①点描手法としてのスラーや筆のタッチを点的に使うモネの方法  ②セザンヌの小さな面（筆の幅）の集合で立体感を出す方法  ③ゴッホの筆圧の力で、絵の具を盛り上げる方法  ④ゴーギャンの色面の対比による装飾的構成  ⑤ピカソの分解と再構成  ⑥ムンクの変形。歪みによる感情表現  ⑦シュルレアリスムのマグリットの非日常的組み合わせ。ダリの質感を変えてしまう方法（飴の様に歪んだ時計）  その他色々あるがこの授業では①～④の内一つを選びその方法で風景画を作る。</p> <p>★注  a 風景を選ぶ。現場スケッチでも写真でも良い。  b イメージは風景として分かること（完全な抽象にはならないこと）  c 絵画を作るといのは造形要素（構成、形、色、質感、バランス、コントラスト、ハーモニー、プロポーション etc）を意識すること。</p>					
授業計画					
この授業は家庭学習になるので各々で近代、現代画家の作品を鑑賞してその描き方、方法、形式を研究すること。					
テキスト	「絵画実習Ⅰ」			参考文献	
評価方法：					
<p>通信授業は提出課題1件を以って評価する。（学習指導書参考）  面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					

科目名	絵画Ⅰ－Ⅱ（人物画）（日本画）			科目コード	1015
開講学科	美術学科	単位数	4（計）	形態	実習
教員名	三待成司				
授業の目的及びテーマ					
絵画Ⅰ－Ⅰ（人物画）でのデッサンの体験をふまえ、日本画制作へと移行する。					
授業概要					
日本画制作を目的としたデッサンを準備し、それを元に日本画作品（10号）制作へと発展させる。					
授業計画					
第 1 回：デッサン後、麻紙ボードに転写、骨描き 第 2 回：地塗り後、日本画画材で制作 第 3 回：制作後 合評会					
テキスト	「日本画ノート・基礎」		参考文献		
評価方法：					
通信授業は提出課題を以って評価する。（学習指導書参考） 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					